

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
東日本大震災緊急復興支援 緊急期(3月11日～6月30日)
活動報告



はじめに

1. 緊急期 支援実績要約
2. 緊急期 募金報告
3. 被災地のニーズ、支援活動と成果
 - ① 避難所/仮設住宅への緊急物資支援
 - ② 子ども支援
 - ③ コミュニティ・キッチン支援
4. 行政機関、他のNGO、企業との連携

添付資料：①支援対象となった学校・保育所等リスト ②緊急支援物資配布リスト

**特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
東日本大震災緊急復興支援 緊急期(3月11日～6月30日)
活動報告**

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災。ワールド・ビジョン・ジャパンは震災発生2日後の13日にスタッフを被災地に派遣し、緊急復興支援を開始しました。震災発生後およそ90日間を緊急期と位置づけ、災害発生直後に人々の生命を維持し、尊厳を保つために最低限必要である衣・食・住の確保と、弱い立場に置かれている子どもたちへの支援に重点を置いた活動を行いました。本報告では、3月1日から6月30日までの緊急期における支援活動、ならびに、多くの方から多大なるご協力をいただいた東日本大震災緊急募金について報告いたします。

1. 緊急期支援実績要約

ワールド・ビジョン・ジャパンは、被災地でのニーズ調査結果と、これまで世界各地で実施してきた緊急人道支援の経験を受け、以下の3本柱からなる支援を実施しました。

- ① 避難所/仮設住宅への緊急物資支援
- ② 子ども支援
- ③ コミュニティ・キッチン支援

多くの行政機関や、企業、学校、団体と連携しながら、6月30日までに、宮城県と岩手県の16市町村で、のべ99,732人に支援を届けました。

2. 緊急期 募金報告

6月30日までに、30億3,656万7,062円(うち、日本国内での募金が9億1,403万7,448円、海外のワールド・ビジョン事務所を通じて21億2,252万9,614円の募金)をいただき、そのほかにも、多くの企業の皆さんから物品支援を含む多大なご支援・ご協力をいただきました。これらのご支援のうち、10億221万9,872円を、以下の通り、緊急期の活動に役立たせていただきました。

支援活動内容	支出額(円)
① 避難所/仮設住宅への緊急物資支援	877,101,148
② 子ども支援	106,577,347
③ コミュニティ・キッチン支援	18,541,377
合計	1,002,219,872

なおこの募金は、途上国の子どもたちのための募金とは別の特別会計によって管理させていただいています。

3. 被災地のニーズ、支援活動と成果

日本は国家として災害に備え、災害救助法により、政府、および地方自治体が災害発生時にどのような対応を取るべきかを定めています。ワールド・ビジョン・ジャパンは政府による対応の枠組と連携しつつ、NGOとして、行政では手に届きにくいニーズに迅速に応えることを目指して支援を行いました。

① 避難所/仮設住宅への緊急物資支援

確認されたニーズ

震災発生から2日後の3月13日に現地へ向けて出発したワールド・ビジョン・ジャパンのニーズ調査チームは、宮城県の避難所で、子どもたちを含む被災した方々と、県及び市町村レベルの行政職員から聞き取り調査を行い、衛生キットや紙オムツ、毛布などの緊急支援物資のニーズが高いことを確認しました。さらに、避難所での共同生活に必要な、炊飯器、洗濯機、掃除機などの電化製品のニーズも寄せられました。その後、岩手県でもアセスメントを行い、同様のニーズを確認しました。

また、避難所生活を送る方々が次に住む場所として仮設住宅を整える必要があり、仮設住宅の建設そのものはすべて行政が担う一方、NGOによる支援として、仮設住宅に入居する方々が使用する生活用品一式を多くの世帯に配布するニーズが高いことがわかりました。

支援活動

緊急支援物資の配布

支援物資の調達と輸送手段の確保は困難を極めましたが、多くの企業や関係団体のご協力により、3月15日には支援物資の第1便が東京を出発。以降、宮城県(気仙沼市、栗原市、南三陸町、仙台市、登米市)、岩手県(一関市、大槌町、滝沢村、遠野市、山田町)の避難所で生活している方々のべ68,396人に、水、毛布、紙オムツ、衛生キット、下着、靴下などの様々な支援物資を、迅速に届けました。



避難所での支援物資配布のようす
(気仙沼市)

品名	数量
紙オムツ(赤ちゃん用)	152,240 枚
紙オムツ(大人用)	2,500 枚
衛生キット	9,596 セット
下着・靴下類	37,327 枚
生理用ナプキン	100,000 枚
水	4,800 本
羽毛かけ布団	4,500 枚
毛布	9,387 枚
粉ミルク	3,008 缶
靴	875 足
乾電池	30,720 本
洗濯機	38 台
乾燥機	12 台
業務用炊飯器	28 台

緊急支援物資リスト(一部)

詳細は添付資料②参照

仮設住宅生活用品支援

5月以降、仮設住宅に入居される方々が新しい生活をスムーズに始められるよう、100品目以上におよぶ生活用品(一部衣料品を含む)を合計約14,000世帯に支援することになりました。6月30日までに宮城県(気仙沼市、南三陸町)、岩手県(洋野町、一関市、岩泉町、久慈市、宮古市、二戸市、野田村、大槌町、滝沢村、田野畠村、遠野市、矢巾町、山田町)の仮設住宅に暮らす6,601世帯(18,324人)に届きました。

	品名	数量	備考		品名	数量	備考
衛生用品	シャンプー	1		掃除洗濯	ほうき	1	
	石けん	2			ちりとり	1	
	歯みがき粉	1			洗濯用洗剤	2	
	トイレットペーパー	1			ぞうきん	2	
	バスタオル	2			物干し竿	1	
	洗面器	1			ハンガー	3	
	ティッシュペーパー	1	5箱パック		テーブル	1	
	ヘアブラシ	1			冷蔵庫	1	
台所用品	やかん	1		備品	洗濯機	1	
	両手鍋	1			炊飯器	1	
	フライパン	1			電子レンジ	1	
	包丁	1			テレビ	1	
	まな板	1			電気ポット	1	
	台所洗剤	2			時計	1	
	スポンジ	2			座卓	1	
	ラップ	1			延長コード	1	
	アルミホイル	1			裁縫セット	1	
	栓抜き・缶切り	1			はさみ	1	
	お玉	1			シャープペンシル	1	
	ざる	1			ボールペン	1	
	ボール	1			マジック	1	
	ふきん	1			ノート	1	
	ごみ箱	1					
	ごみ袋	1	10枚				
什器	茶碗	1		その他			
	汁碗	1					
	皿	1					
	マグカップ	1					
	はし	1					
	スプーン	1					

1世帯あたりの生活用品リスト(什器のみ1人あたり)

成果

迅速な物資支援は、津波によって一瞬にしてすべてを流され、文字通り、着の身着のままで避難した被災者の方々に大いに役立てていただきました。俸花(こうか)ちゃん(当時1歳4ヶ月)のお母さんのさち江さんは、次のように話してくださいました。



俸花ちゃん(当時1歳4ヶ月)

「(震災があった日は)雪が降っており、とても寒かったのですが、ご近所の皆さんとともに野宿をしました。持つて逃げた荷物も何もかも流されてしまったので、俸花のオムツに困りました。ペット用のトイレシートを持っておられた方がそれをくださり、オムツの上に重ねてオムツ代わりにしました。—中略—大人は、食べ物や着るもののがなくてもしばらくは何とかなります。けれど、子どものためのオムツやミルクがないと、本当に困ります。避難所にオムツを届けてくれて本当に良かったです。ものすごく助かっています」

また、仮設住宅入居のための生活用品支援は、被災した方々が避難所を出て仮設住宅で新しい生活をスタートさせるために役立っています。行政から指定された支援品リストの品々を、短期間で大量に調達することは大きな困難を伴いましたが、調達や仮設住宅への運搬には、多数の企業がご協力ください、ワールド・ビジョン・ジャパンが支援を進めるにあたって強力なパートナーとなってくださいました。

② 子ども支援

確認されたニーズ

震災と津波の発生以来、子どもたちの生活は大きく変わりました。多くの子どもたちが家族、友人、家、そして学校を失いました。避難所で生活することになった子どもたちは、あまりよく知らない人々に囲まれて暮らすことになりました。地震と津波という大災害を体験したショックと、大きな生活環境の変化から、子どもたちは、よく眠れなくなったり、それまでに見せなかつた行動を取るなど、ストレスの現れとみられる症状を示すようになりました。また、多くの子どもたちが余震におびえ、再び津波に襲われることを恐れていました。さらに子どもたちは、自分たちの両親や保護者もまた、震災以来大きなストレスを抱えていることを感じていました。

子どもたちにとって、特に気になるいくつかのことがありました。亡くなった家族のこと、または行方不明になってまだ見つからない家族のこと。遠く離れた仮設住宅や避難所で暮らすために、散り散りになってしまった友だちのこと。しかし、多くの見知らぬ人と暮らす避難所での生活のため、子どもたちは自由に遊ぶこともできず、心配事があることを自由に表現することもはばかられていました。調査チームが子どもたちに聞き取り調査をしたところ、多くの子どもたちが野球や水泳などのスポーツをしたり、友だちと遊んだり、勉強するという、「普通の生活に戻る」ことを願っていることがわかりました。

学校の再開が遅れたことは、子どもたちの勉強や将来に対する心配を増幅させました。何事もなければ4月9日のはずだった新学期開始は多くの学校で2週間遅れ、南三陸町では5月10日によくやく再開した学校もありました。震災のために長くなってしまった春休みの間、子どもたちに予定を与え、遊ぶ時間を確保することが、子どもたちの心理的安定のために求められる重要な支援ニーズであることが明らかになりました。また保護者も、行政手続や家の片付けなど、大人が行わなければならない用事を済ませる間に、子どもたちが安心して過ごせる場所を必要としていました。

学校再開には課題がありました。行政は、子どもたちの教育への負の影響を最小限にするため、できるだけ速やかに学校を再開させようとしていたものの、必要な資金が不足していました。震災が起きたのが年度末だったために、この年度の予算はすでに消化されていた一方、新年度予算は6月まで執行できなかったことも一因です。新年度予算の執行が可能になるまで教育行政を補完し、学校再開を支援して、子どもたちが通常通りの学校生活を送れるように支えることが、重要な緊急支援ニーズとして確認されました。

支援活動

子どもたちの心のケア

被災して精神的にも不安定になりがちな子どもたちが、安心して遊び、話ができるチャイルド・フレンドリー・スペースの活動を、宮城県登米市、南三陸町の 7 カ所で実施、のべ 326 人の 17 歳以下の子どもたちが参加しました。スタッフは、保護者や学校の先生方と連携しながら、子どもたちの心や体調に変化がないか、見守りました。



子どもたちに配られた学用品セット

学校再開支援

子どもたちが新学期を順調に迎え、学習を再開できるよう、宮城県（気仙沼市、南三陸町、登米市、栗原市）、岩手県（大槌町、田野畠村、野田村、アカハマ）の小・中・高校 88 校の約 4,000 人の子どもたちに、学用品セットや体操着、運動靴、副教材を支援しました。また、断水が続いている場所でも子どもたちが衛生的な環境で学べるように、親子便座を使用した仮設トイレを支援し、津波で流されてしまった学校に通っていた子どもたちが、他の学校に通うためにより多くの教室が必要となった学校に対し、プレハブ校舎の支援を行いました。さらに、南三陸町にあった校舎が全壊したために、約 1 時間離れた登米市にある別の学校を仮校舎として使用している子どもたちのために、スクールバスも支援しました。離れた場所にある別々の避難所で暮らしている子どもたちも、スクールバスによって通学が可能となりました。



親子便座を使用した仮設トイレ

おかず給食支援

宮城県南三陸町では、津波によって給食センターが流失した上に、断水が続き、保護者も子どもたちの昼食を準備することができないため、給食支援のニーズが強く寄せられました。支援が行われる前は、パン、牛乳とデザートだけの給食だった町内すべての小・中学校に、6 月 1 日からおかず給食を支援しました。支援にあたっては、同町給食センターの方々の全面的な協力により、栄養面はもちろん、アレルギーを持つ子どもたちにも配慮したメニューを決定することができました。震災後入学した小学校 1 年生のなかには、届いたおかずを見て「給食はパンと牛乳だけだと思ってたけど、ご飯もおかずもあるんだ！」と、驚いている子どもたちもいました。



おかずが復活した給食を食べる子どもたち

保育所・幼稚園等への支援

宮城県南三陸町では、保育所や幼稚園も津波の被害を受け、町内にある 4 つの保育所、幼稚園等で終日保育が再開されたのは 6 月 10 日のことでした。町内ではまだほとんどの地域で上下水道が復旧しておらず、園内に調理施設があっても、子どもたちに給食を用意することができないため、学校と同様に給食支援のニーズが寄せられ、パンと牛乳、飲料水の簡易給食支援を実施しました。このほか、保育所、幼稚園等再開にあたって、布団やおもちゃの支援も行いました。

成果

チャイルド・フレンドリー・スペースは、学校再開前は、行く場所も、することもなく避難所で過ごしている子どもたちが定期的に参加する活動となり、子どもたちが日常生活を取り戻すための一助となりました。学校が始まる前は、思い切り体を動かして遊ぶ場を、学校再開後は、避難所では勉強に集中することが難しい子どもたちに宿題をする場を提供することにつながりました。

また、友だちと遊びながら、子どもたちは自然に心配事やストレスを表現することができました。保護者や学校の先生方は、子どもたちが安全で楽しい環境で過ごせているという安心感の下、家庭や学校の用事を行うことができました。



チャイルド・フレンドリー・スペースで
思い切り遊ぶ子どもたち

学校再開支援は、子どもたちが新学期を順調に迎えるために効果的な支援でした。ユニセフ、プラン・ジャパン、セーブ・ザ・チルドレン等の他団体と連携して、支援対象となる学校を分担しつつも、支援する学用品などの内容は統一することができ、公平な支援をすることができました。予算執行による制約という行政が抱える課題を、NGOが効果的にカバーできた支援といえます。

給食支援は、子どもたち、先生方、保護者の方々に喜ばれ、被災後、不自由な生活が続いている子どもたちの栄養状態を改善することに寄与しました。中学校では、これまで昼食が乏しかったために空腹で部活動をできなかった生徒が、部活動を再開することができたとの報告もあり、子どもたちが意欲的な学校生活を送ることに貢献しました。また、このニュースはメディアにも多く取り上げられ、ソーシャルメディア上でも広がりを見せました。

③ コミュニティ・キッチン支援**確認されたニーズ**

震災と津波により食料を手に入れられなくなった被災者に対し、政府はインスタント食品等を迅速に配布して対応するとともに、自衛隊が大きな避難所で日に1度、ご飯と味噌汁を提供する支援を開始しました。しかし、宮城県の栄養調査により、被災者の方々が口にしている食事は、カロリー不足(成人の標準カロリー摂取量/日が2,000キロカロリーなのに対し、避難所での食事は平均1,546キロカロリー)であり、栄養的にも偏りがあることが明らかになりました。避難所生活の長期化に伴い、避難所での食事を改善し、必要な栄養を満たすものにすることが重要な支援ニーズとして確認されました。



気仙沼市の避難所に設置された
コミュニティ・キッチン

支援活動

南三陸町で5カ所、気仙沼市で1カ所の避難所に、被災者自身が調理できるコミュニティ・キッチン(食事が用意できる施設)の支援を行い、プレハブの施設や調理器具等を提供しました。災害救助法では、緊急時の食料供給の責任は地方自治体にあると定めています。このため、ワールド・ビジョン・ジャパンは調理施設の提供のみを行い、食事の提供は南三陸町と気仙沼市がそれぞれ契約した被災者の方々や、事業者によって行われています。

成果

調理環境が大幅に改善されたことによって、よりバランスのとれた、温かい食事を提供できるようになりました。気仙沼市のコミュニティ・キッチンで調理を担当している方は、津波によって市内で経営していた食堂を失い、自身も被災していますが、「避難所で長く生活されている皆さんには、大変な思いをされていると思います。皆さんの気持ちを考えながら、美味しく食べていただけるように、調理したいです」と、避難所で生活している方々のために、腕をふるっています。

4. 行政機関、他の NGO、企業との連携

① 行政機関との連携

効果的に必要な支援を届けるために、国・県・市町村レベルの行政機関と調整・連携しながら、支援活動を行いました。各行政機関と支援活動を行っている NGO 間のミーティングも定期的に持たれ、地域や団体によって支援活動に偏りや不平等が起きないよう、情報交換を行いました。

② 他 NGO との連携

(特非)国際協力 NGO センター(JANIC)、(特非)ジャパン・プラット・フォームが主催する調整・連絡会議に出席し、宮城県および岩手県内で活動する他 NGO と必要な情報交換、調整を行っています。また、支援活動の中でも、仙台 YMCA、(特非)ジャパンハート、(特非)キッズドア、一般社団法人 more trees との連携を行いました。

③ 企業・団体等による支援

以下の通り、多くの皆さまから、多大なるご支援・ご協力をいただきました。

東日本大震災緊急復興支援募金へのご支援(一部・敬称略)

山崎製パン株式会社、孫正義氏、株式会社スタートトゥデイ、東京海上日動火災保険株式会社、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、社団法人日本食品機械工業会、任意団体ベネッセ募金口、株式会社不二家

物品寄付によるご協力(一部・敬称略)

イケア・ジャパン株式会社、日産自動車株式会社、住友化学株式会社、富士フィルムホールディングス株式会社、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、日本アムウェイ合同会社、花王株式会社、株式会社チュチュアンナ、阪神酒販株式会社、日清紡ホールディングス株式会社、和光堂株式会社、株式会社味千汐路、主富服装股份有限公司

その他

ヤマザキグループ企業(支援金の受付協力、緊急支援物資の輸送全面協力、おかず給食支援への製造・運搬協力)、株式会社住友倉庫(倉庫の提供)、玉の肌石鹼株式会社、Ever Green Group

**添付資料①
ワールド・ビジョン・ジャパン東日本大震災緊急復興支援 支援学校リスト**

順位	県名	市町村名	学校名	支援内容
1	宮城県	南三陸町	戸倉小学校	学用品、制服、運動着、学校備品、副教材などを支援
2			戸倉中学校	
3			伊里前小学校	
4			名足小学校	
5			入谷小学校	
6			志津川小学校	
7			志津川中学校	
8			歌津中学校	
9			志津川高等学校	
10		気仙沼市	制服支援	
11			気仙沼小学校	学用品、制服、運動着、学校備品、副教材などを支援
12			南気仙沼小学校	
13			九条小学校	
14			鹿折小学校	
15			浦島小学校	
16			白山小学校	
17			松岩小学校	
18			水梨小学校	
19			新城小学校	
20			月立小学校	
21			落合小学校	
22			階上小学校	
23			大島小学校	
24			面瀬小学校	
25			唐桑小学校	
26			仲井小学校	
27			小原木小学校	
28			津谷小学校	
29			馬籠小学校	
30			小泉小学校	
31			大谷小学校	
32			気仙沼中学校	
33			鹿折中学校	
34			松岩中学校	
35			気仙沼高等学校	
36			気仙沼向陽高等学校	制服支援
37	福島県	登米市	佐沼小学校	学用品、制服、運動着、学校備品、副教材などを支援
38			新田小学校	
39			北方小学校	
40			登米小学校	
41			米谷小学校	
42			錦織小学校	
43			米川小学校	
44			石森小学校	
45			加賀野小学校	
46			宝江小学校	
47			上沼小学校	
48			豊里小学校	
49			米岡小学校	
50			米山東小学校	
51			石越小学校	
52			南方小学校	
53			西郷小学校	
54			東郷小学校	
55			柳津小学校	
56			横山小学校	
57			佐沼中学校	
58			東和中学校	
59			中田中学校	
60			豊里中学校	
61			米山中学校	
62			石越中学校	
63			南方中学校	
			津山中学校	

順位	県名	市町村名	学校名	支援内容
64	宮城県	栗原市	築館小学校	学用品、制服、運動着、学校備品、副教材などを支援
65			富野小学校	
66			畠岡小学校	
67			岩ヶ崎小学校	
68			尾松小学校	
69			鳥矢崎小学校	
70			文字小学校	
71			高清水小学校	
72			一迫小学校	
73			瀬峰小学校	
74			金成小学校	
75			荻野第二小学校	
76			志波姫小学校	
77			若柳中学校	
78			栗駒中学校	
79			高清水中学校	
80			一迫中学校	
81			瀬峰中学校	
82			鶴沢中学校	
83			金成長中学校	
84			志波姫中学校	
85	岩手県	大槌町	大槌北小学校	制服支援
86			赤浜小学校	
87			吉里中学校	
88			大槌高等学校	
89			野田村	
90			田野畑村	

※上記のうち、1~2の学校にはスクールバス、仮設プレハブ校舎(2基)も支援
 ※上記のうち、3~8の学校にはおかげ給食、仮設トイレ、手洗いタンクも支援

簡易給食支援 保育所・幼稚園等リスト

順位	県名	市町村名	保育所・幼稚園名
1	宮城県	南三陸町	入谷ひがし幼稚園
2			私立名足保育園
3			伊里前保育所
4			志津川保育所
5			私立あさひ幼稚園

添付資料②

ワールド・ビジョン・ジャパン東日本大震災緊急復興支援 緊急支援物資配布リスト

到着日	県名	市町村名	支援物資	数量	単位
3月17日	宮城県	登米市	赤ちゃん用紙オムツ	130,000	枚
3月18日			生理ナプキン	100,000	枚
3月22日			大人用紙オムツ	1,250	パック
3月23日			毛布	4,500	枚
3月25日			水	4,800	本
3月26日		南三陸町	大人用紙オムツ	1,250	パック
3月29日			毛布	2,543	枚
3月31日		南三陸町	赤ちゃん用粉ミルク	2,344	枚
4月1日			600	缶	
4月6日		気仙沼市	下着	6,400	枚
4月8日			毛布	4,500	枚
4月9日			衣料品	25,500	枚
4月11日			懐中電灯	192	個
4月12日			哺乳瓶	200	個
			衛生キット	756	セット
			トイレットペーパー	768	ロール
			衛生キット	3,024	セット
			トイレットペーパー	4,032	ロール
			衛生キット	1,001	セット
			トイレットペーパー	2,880	ロール
			下着、靴下類	4,000	枚
			衛生キット	504	セット
			トイレットペーパー	1,440	ロール
			シャンプー	500	本
			下着、靴下類	3,020	枚
			下着	776	枚
			洗濯機、乾燥機、棚、ホース	6	セット
			下着	107	枚
			赤ちゃん用粉ミルク	640	缶
			衛生キット	301	セット
			赤ちゃん用紙オムツ	10,240	枚
			プラスティックチェスト	10	脚
			足湯セット	5	セット
			バスタオル	48	枚
			靴	875	足
		岩手県	ネコ車	50	台
			ネコ車用スペアタイヤ	20	個
			工具	1	セット
			土のう袋	2000	枚
	宮城県	仙台市	衛生キット	2,800	セット
			水なしシャンプー	2,340	本
			乾電池	30,720	個
			靴下	6,387	枚
		岩手県	洗濯機	28	台
			排水ホース	32	本
			洗濯機	10	台
		大槌町	排水ホース	10	本
			炊飯器	10	台
	宮城県	気仙沼市	鍋	5	個
			アルミ蓋	5	個
			ガスホース	5	本
			鍋	5	個
			アルミ蓋	5	個
			LPガス用ゴムホース	5	本
			丸スパチュラ	10	個
			お玉	10	個
			単段調整器	5	セット
			プロパンガスコンロ	5	セット
			洗濯機用延長ホース	2	本

4月14日	岩手県	遠野市	トイレクリーナー	3,000	個		
			トイレ用ブラシ	3,000	本		
			ネコ車	50	台		
			土のう袋	1,000	枚		
			デッキブラシ	3,000	本		
			ゴム手袋	3,000	個		
			消毒液	1,008	本		
		山田町	マスク	10,080	枚		
			炊飯器	18	台		
			掃除機	7	台		
			乾燥機セット	12	セット		
4月18日		遠野市	乾燥機用自立スタンド	12	台		
			炊飯器	8	台		
			車両	7	台		
			バケツ	1,000	個		
			タオル	3,000	枚		
4月19日		滝沢村	衛生キット	209	セット		
			トイレットペーパー	576	ロール		
			ダウンジャケット	600	枚		
			タオル	197	枚		
			衛生キット	1,001	セット		
			トイレットペーパー	3,072	ロール		
			シャンプー	180	本		
			女性用下着	7,767	枚		
			男性用下着	8,400	枚		
			どんぶり(容器)	4,000	個		
4月25日	宮城県	気仙沼	どんぶり(蓋)	4,000	枚		
			箸	500	膳		
4月26日			スプーン	500	本		
			Tシャツ	2,500	枚		
			洗濯機	3	台		
			赤ちゃん用粉ミルク	368	缶		
			赤ちゃん用紙オムツ	12,000	枚		
4月28日		南三陸町	おしりふき	1,200	パック		
			物干しセット	5	セット		
5月7日			トイレットペーパー	288	ロール		
			学用品セット	89	セット		
			トイレットペーパー	148	セット		
			プレハブ校舎	2,592	ロール		
5月9日	岩手県	田野畠村 岩泉町	布団	133	枚		
				114	枚		
5月10日	宮城県	気仙沼市		26	個		
				290	個		
				17	個		
				34	個		
				100	個		
				13	個		
				310	個		
				230	個		
				430	個		
				350	個		
5月11日	岩手県	岩泉町	布団	211	枚		
5月12日				336	枚		
5月13日	宮城県	登米市	防災頭巾	708	個		
				44	枚		
	岩手県	久慈市	布団	32	枚		
5月14日	宮城県	南三陸町	調理なべ、ホース	35	台		
			ガスコンロ	5	台		
			台	5	台		
				135	枚		
			布団	150	枚		
				228	枚		
5月18日	宮城県	気仙沼市	衣料品	1,668	枚		
			トイレットペーパー	8,160	ロール		
			離乳食	1,000	缶		
		登米市	衣料品	120	枚		
				238	枚		
			布団	72	枚		
	岩手県	宮古市		244	枚		

5月20日	宮城県	南三陸町 登米市	防災頭巾	89	個
5月21日				144	個
				293	個
				100	個
				82	個
5月25日		南三陸町		80	枚
				40	枚
				40	枚
				155	枚
5月26日	岩手県	岩泉町		50	枚
		宮古市		50	枚
		田野畠村		72	枚
		二戸市		38	枚
		宮古市		212	枚
		大槌町		6	枚
5月28日		山田町		29	枚
5月29日	宮城県	気仙沼市		88	枚
5月31日				210	枚
6月1日				100	枚
				78	枚
				140	枚
				146	枚
				543	枚
				224	枚
				273	枚
				393	枚
6月2日		栗原市	男性用下着	140	枚
6月3日			女性用下着	330	枚
6月4日				492	枚
				310	枚
				4	枚
6月7日	岩手県	宮古市 大槌町 宮古市 大槌町		207	枚
6月8日				116	枚
				119	枚
				90	枚
				91	枚
	宮城県	気仙沼市	扇風機	118	枚
			トイレットペーパー	35	枚
			アルミ製フライパン	230	枚
			アルミ製蓋	23	枚
			料理用深鍋	37	枚
			ナイフ	250	枚
			ナイフ(小)	10	台
			炊飯器	120	箱
			まな板	5	個
			調理用スプーン	3	枚
			調理用スプーン(大)	2	本
			調理用スプーン(網製)	2	本
6月			タンク	5	台
			タンク用蓋	5	枚
			手押し車	3	台

6月		気仙沼市	ボウル	10	個
			網ボウル	5	個
			シチュー鍋	3	個
6月9日		登米市	扇風機	30	台
			屋外風呂シャワーユニット	3	セット
			家庭用扇風機	30	台
			冷蔵庫	3	台
			洗濯機	5	台
6月11日		宮城県 南三陸町	哺乳瓶	300	本
			おしりふき	1008	枚
			消毒液	412	本
			タオルハンガー	4	個
			物干しセット	4	セット
			給食用台車	1	台
			ボウル(大)	20	個
			ボウル(中)	12	個
			網ボウル(大)	4	個
			網ボウル(中)	8	個
			両手フライパン(大)	4	個
			両手フライパン(中)	8	個
			片手フライパン(中)	4	個
			シチュー鍋	4	個
			中華なべ	4	個
			まな板(大)	12	枚
			まな板(小)	8	枚
			ナイフ(20cm)	8	本
			ナイフ(18cm)	8	本
			調理用スプーン	8	本
			調理用スプーン(穴つき)	4	本
			おたま(網製)	4	本
			泡だて器	4	本
6月18日		登米市	木べら	8	本
			トング	8	本
6月21日		気仙沼市	菜箸	20	膳
			おたま	20	本
6月22日		登米市	洗いおけ	8	個
			缶切り	8	個
6月27日		気仙沼市	ピーラー	8	個
			おろし金	8	個
6月29日		登米市	調理用はさみ	4	本
			メジャー・カップ	4	個
6月30日		南三陸町	はかり	4	個
			タンク(大)	8	個
			タンク(中)	12	個
			タンク(網製)	8	個
			ざる	4	個
			タオルハンガー	4	個
			物干しセット	4	セット
			子ども用布団	360	枚
			布団	70	枚
6月21日		登米市	家庭用扇風機	30	台
			冷蔵庫	3	台
			洗濯機	5	台
6月22日		気仙沼市	扇風機	10	台
			トイレットペーパー	120	ロール
			扇風機	30	台
6月27日		登米市	屋外風呂シャワーユニット	5	セット
			コミュニティ・キッチン用台所備品一式	1	セット
			箸、スプーン	1400	膳